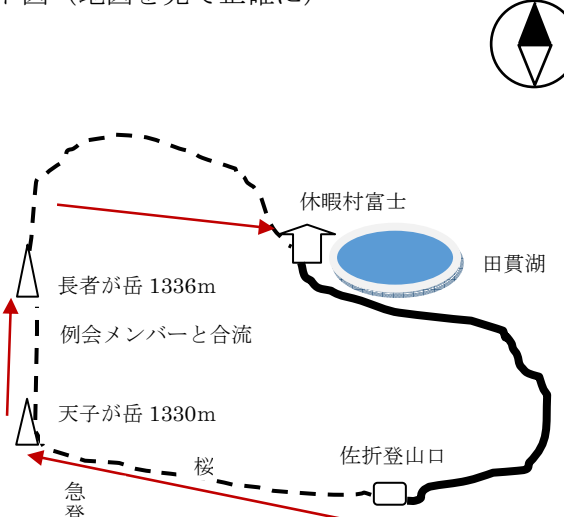


9 月度 ^{例会} 個人 山行報告書		報告者	佐溝直彦	参加 メンバー	CL:佐溝直彦 SL: 油井武、不破孝浩 浅田由徳。
		報告日	10/3**		
山 域	富士外輪山	山行日	*017年 9月30日(土) (前泊した)		
山 名	天子~長者が岳				

山行目的	例会に便乗し富士の眺望を楽しむ	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	-----------------	--------------------

配布先	ルート図 (地図を見て正確に) 
総会参加数	
山行: 1 リーダー	
原紙: 会事務局	

天候: 晴れ	登山口まで移動。
休暇村発 8:00 車で佐折	登山口発 8:25~天子が岳 11:10-:20~
登山口	長者が岳 12:15... 例会メンバーと合流。
以下は例会報告書参照下さい (津田CL)。	
前泊の2名の浜島さんは登山せず休暇村で過ごす。竹内さんは30日朝例会メンバーと合流し同行動。	

〈山行報告〉
 9月例会が田貫湖付近の山・との情報を知り休暇村に前泊して天子が岳~長者が岳のミニ縦走をしたいと有志を募った、5名の賛同者があり計画した。例会前日の29日はR52から近くで富士の眺望のよい白鳥山 (竹内CLの報告書参照) へ、下山後は百系の滝観光後休暇村コテージにチェックイン。夜は楽しい歓談。
 30日は竹内さんに車で佐折登山口まで送ってもらい登山開始。よく手入れされた杉や檜の樹林帯を進む傾斜が緩む頃登山道に沿って桜の並木が現れた、花の咲く頃に見てみたいものだ。ここからは痩せ尾根の急登、岩角や木の根を掴みながらバランスを崩さぬよう必死の登り・40分程で傾斜が緩くなり頂上が近い事を感じるようになると・・・山頂を示す標識が立ってはいいるがピークがはっきり分からなく通り過ぎそうになる。天子山頂からは20分の下りで鞍部に降り立ちここからは緩やかな登りであっけなく長者の山頂着。頂上は東側が開けており富士山の天沢崩れが正面に望める、上空にはパラセールが気持ち良さそうに悠々と飛んでいる、足元に田貫湖を見下ろせ、超I級の眺望である。良い天気に登れてラッキーだった。
 計画通り山頂で例会のメンバーに合流して富士の雄姿を楽しみながらのコーヒーはおいしかったリーダーの津田さんに感謝！。

確認 (リーダー)	佐 17/10/3 溝
作成 (報告者)	
	佐 17/10/3 溝

〈リーダー所見〉
 天気恵まれて両日共富士山がしっかり望めたので良かった。長者が岳の山頂では前泊者からのささやかな完登プレゼント (ゼリーとミカン) を例会メンバーに貰っていただきました。
 縦の木会の皆さん有難う御座いました。

